

バイクの組み立て方- 日本のお客様へ

Wiggle のバイクは全て発送される前に、当社の資格を持った Cytech メカニックによって組み立てられ、安全性のチェック、調整が行われています。Cytech は自転車産業における唯一のサイクルメカニックのためのトレーニング資格です。全てきちんと作動、機能すること、そして安全性基準を満たしていることが確認されたに、解体され、2つの箱に梱包されて発送が行われます。

バイクの組み立てに関しては下記の説明書をご覧ください。(参照写真もページ下部に記載されております。)

1. Allen Key (アレンキー/六角レンチ) を使いシートポストとサドルをフィットさせ、適切な torque (トルク) で締め付ける。正しいトルクのセッティングに関してはメーカーのウェブサイト・マニュアル等をご覧ください。(写真 1&2 参照)
2. もし可能であれば、ワークスタンドにバイク本体を固定させる。(写真 3 参照)
3. Allen key を使ってリアディレイラーをフィットさせ、適切なトルクで締め付ける。(写真 4 & 5 参照)
4. スプリングが正確な方向に面していることを確認しクイックリリーススクエアを挿入する。リアホイールを取り付け、チェーンの向きを確認する。ドロップアウトにアクシルを安定させ、クイックリリースを締める。同様にアクシルがドロップアウトに安定していることを確認してからフロントホイールを設置し、クイックリリースを締める。後ろから見たときにリアメックハンガーが一行に並んでいることを確認する。(写真 6a/6b/7/8/9/10/11 を参照)
5. Allen Key (アレンキー) を使ってハンドルバーをステムにフィットさせ適切なトルクで締める。(写真 12/13/14 参照)。
6. ブレーキブロックがリムと並列していることを確認する。(写真 15 参照)。
7. フロント・リアブレーキ クイックリリースが閉まっていることを確認。通常はレバーが下向きになった状態のことを指す。(写真 16 & 17 参照)。
8. ペダルをフィットさせる。ペダルは事前に油が注してあるので注意。ペダルは通常 'L' 左 'R' 右と表示してある。これは、前を向いて乗用する時にバイクのどちら側に付属しているかを示している。(R = ドライブサイド/チェーンリングサイド) 右のペダルは時計回りに締め、左のペダルは反時計回りに締める。(写真 18/19/20 参照)

アドバイス

乗用する前に、バイクがきちんと組み立てられているか全体的なチェックを行ってください。

Wiggle では組み立て方の問題によるケガや損傷に関する責任を負うことはできません。ご了承ください。

詳細情報はバイク配送時に同封されていた説明書・マニュアルをご覧ください。[ご不明な点などございましたら bike@wiggle.co.uk](mailto:bike@wiggle.co.uk) にご連絡ください。喜んでお手伝いいたします。

必要なメンテナンスを怠ると事故や保証無効へとつながる場合もありますので、ご留意下さい。

Wiggle 組み立て日：

フレーム製造ナンバー：

メンテナンス

バイクの安全性、信頼性を保つためには、毎回ライド前に行っていただくステップがあります。

- ブレーキの機能とパッドの磨耗具合をチェック
- タイヤの磨耗具合、プレッシャー、砂岩片をチェック
- ホイールクイックリリースがきつく締まり、ホイールが安全に固定されているかどうかチェック
- ホイールがきちんと直線に回るようグラつきがないかホイールを回転させチェック
- きちんとサスペンションが作動するかチェック(例 正確なプレッシャー)
- チェーンをチェックし、必要ならば潤滑剤を使用する。
- ステムとクランクボルトのトルクが正確かどうかをチェック

バイク乗用後は、バイクをきれいに洗浄し、チェーンやケーブルは良質の潤滑剤で保護して下さい。バイクは使用回数が多ければ多いほど、メンテナンスの回数も増やす必要があります。1週間につきバイクを5日以上使用する場合、もしくは通勤に利用する場合、少なくとも1週間に一回はメンテナンスを行うことをお勧めします。頻繁にバイクに乗用しない場合も、少なくとも1ヶ月に1回はメンテナンスを行ってください。

下記のステップはバイクライドをより長く楽しみ、早期欠陥を防ぐためのチェック事項です。

- バイク全体を洗浄し、フレームやフォークに損傷がないかチェックする。
- 油性洗浄剤でドライブトレインを洗浄する。
- チェーン、カセット、チェーンリングに潤滑剤を差し、磨耗具合をチェックし必要ならば取り替える。
- ハブ、ボトムブラケット、ペダル、ヘッドセットなどの全てのベアリングシステムをチェックする。
- ブレーキパッドとディスクローターの磨耗具合、バークリップとテープをチェックする。
- ホイールを洗浄し、磨耗度合を注意深くチェックする。
- スポークニップルの部分に傷がないか、直線上に動き、ルーズなスポークがないようリムをチェック。
- 全てのナットとボルトのきつさをテストする。
- クランクボルトが推奨トルク設定であることをチェック。
- ボトムブラケット、カセットロックリングがきついことをチェック。
- Vブレーキ、ディレイラー、SPD ペダルピボットに潤滑剤を差し。
- 全てのケーブルインナー、アウターに老化や損傷がないかチェック。
- ケーブルインナー、アウターに潤滑剤を差し。
- 緩んだボルトやクリートの老化がないか SPD ペダルとクリートをチェック。
- サスペンションフォークやリアショックに潤滑油を差し、メンテナンスする。

使用中にヘッドセットが緩むことがあります。このようなケースは稀ですが、万が一起こった際には次のステップを踏んでください；

Allen key を使用し、ステムクランプを緩めてからヘッドセットの緩みをなくす程度にトップボルトを締める。バイクにまたがり、フロントブレーキを加えながら、ゆっくりと前後に動かすことでチェックできます。

もしそれでも動いてしまうようであれば、トップボルトをもう少しきつく締めて、再度チェックする。無駄な動きがなくなるまでこれを繰り返す。フロントホイールが自由に動くように、トップボルトをきつく締め付けすぎないようにご注意ください。

フロントホイールとステムの並びを再度チェックし、ステイラークランプボルトを下記のもので締める：

4mm ボルト 8N/M トルク

5/6mm bolts 9N/M トルク

カーボン操縦チューブに関しては、最大 **7N/M** を使用する。



お客様氏名

バイク商品名	モデル	色	サイズ	
PROCEDURE/チェック項目				CHECKED/確認済
Check bike/wheels for damage. バイク/ホイールの破損のチェック				
Check wheel hub for play. ホイールハブのチェック				
Check tyre pressure and rotation. タイヤ圧と回転のチェック				
Check wheels are true with no loose spokes. ホイールスポークのチェック (緩んだスポークがないか等)				
Align disc brake callipers/rim brake blocks. ディスクブレーキキャリパー/リムブレーキブロックのアラインメントのチェック				
Stretch brake cables ブレーキケーブルのチェック				
Test function of brakes ブレーキ機能のテスト				
Check BB for play ボトムブラケットのチェック				
Check torque of crank bolts クランクボルトのトルクチェック				
Check chain for stiff links/correct fitting チェーンの硬さ/設置のチェック				
Stretch gear cables ギアケーブルのチェック				
Set front and rear derailleur stop screws フロント&リアのギアにあるスクリューの固定				
Set up and test rear gear function リアギアの設置と機能の確認				
Set up and test front gear function フロントギアの設置と機能の確認				
Check/adjust saddle position サドル位置の確認/調整				
Tighten all required bolts/screws/lockrings to required torque ボルト/スクリュー/ロックリングを指定のトルクで締める				
Test function of suspension (if required) サスペンション機能の確認				

担当技術者	署名	日付	
Repackage bike securely バイクの梱包			
Check all required paperwork/tools/pedals are in box 必要書類/付属ツール/ペダルの梱包確認			

梱包担当者 署名 日付 E メール: workshop@wiggle.co.uk